
第2 緑と水の役割

1 緑と水の役割

第2 緑と水の役割

1 緑と水の役割

緑と水は、市民の生活環境を様々な面で支え、市民生活にとって、なくてはならない重要な役割を担っています。都市における樹林地、水辺、農地、公園等は、都市環境の保全、スポーツ・レクリエーション、防災、都市景観の形成など様々な機能を有しており、本計画では、以下の4つの視点で緑と水の役割をとらえます。

(1) 都市環境を保全する機能

狭山丘陵のようにまとまった緑や河川等の水辺は、小動物や野鳥等の生息・繁殖の場となり、自然の生態系を維持するうえで重要な役割を担っています。また、樹林地や農地等は、雨水の地下浸透や保水機能を有し、地球温暖化の防止やヒートアイランド化の緩和といった環境保全のほか、防音・防塵・防風等、多くの活用すべき機能があります。

(2) レクリエーションの場となる機能

市民が健康的な生活を営むうえで、スポーツやレクリエーションの果たす役割は増えています。また、時代の経過とともに市民ニーズも変化しており、子どもから大人まで幅広い年齢層が楽しむことのできるレクリエーションや高齢者の健康への関心等が高まっています。そのような中で樹林地は林間レクリエーションの場、公園や緑道等は運動やウォーキング、散策等の健康づくりの場、市民農園は農とのふれあいの場等として、市民の生活にとって貴重な空間となっています。

(3) 防災に資する機能

公園・緑地、グラウンドなどのオープンスペースは、災害時の避難場所や救援・復旧活動の拠点としての機能を有しています。また、市内に点在する農地の一部も、災害時協力農地に登録されており、一時的な避難場所等としての役割を担っています。

さらに、公園や道路沿いの樹木や河川などには、輻射熱や火の粉を遮断し延焼を遅らせる効果、急傾斜地の樹木には、崖崩れを防止する効果も期待されます。

(4) 都市景観を形成する機能

狭山丘陵の山並みや水辺、公園、街路樹、住宅地の庭や生垣、駅前等の緑と水は、都市にうるおいや安らぎを与えています。また、農地、社寺林、屋敷林、地域のシンボルとなっている大木等、生活との関わりの中で育まれてきた緑のつくる風景は、地域らしさを表現している景観といえ、地域に残された自然や歴史を取り入れた個性ある都市景観の形成に役立っています。



都市環境を保全する機能



レクリエーションの場となる機能



緑の役割イメージ



防災に資する機能



都市景観を形成する機能